



- 解決すべき課題  
 さまざまな立場の違いを超えて、地域を挙げた議論を行うコミュニケーションが存在しない→地域の自立的経営が困難
- 課題解決のための仕組み  
 『ひとりひとりが対等な関係で参加し、データやファクトを踏まえて責任を持って意思表示し、相互参照できる』  
 信頼構築のコミュニケーション
- 仕組み/サービスが必要とされる必然性  
 SDGs, Society5.0, DX, ポストコロナウイルスへの対応など、地域を挙げた議論に基づく地域の自立と持続性の確立が急務

『ポリネコ!』の背景①-④

誰もが、いつでもどこでも社会と地域課題について知り、学び、考え、意思表示することで国民的議論、地域を挙げた議論を実現する課題解決型コミュニケーション=『ポリネコ!』(複数の特許に基づく新しいデジタル民主主義コミュニケーション)

① 分断されている私達

立場を超えた意思の疎通が困難になっています。地域が目指す共通目標の確立が、できません。



地域社会にビジョンが共有されない  
 行政-住民間で『信頼』が育まれない

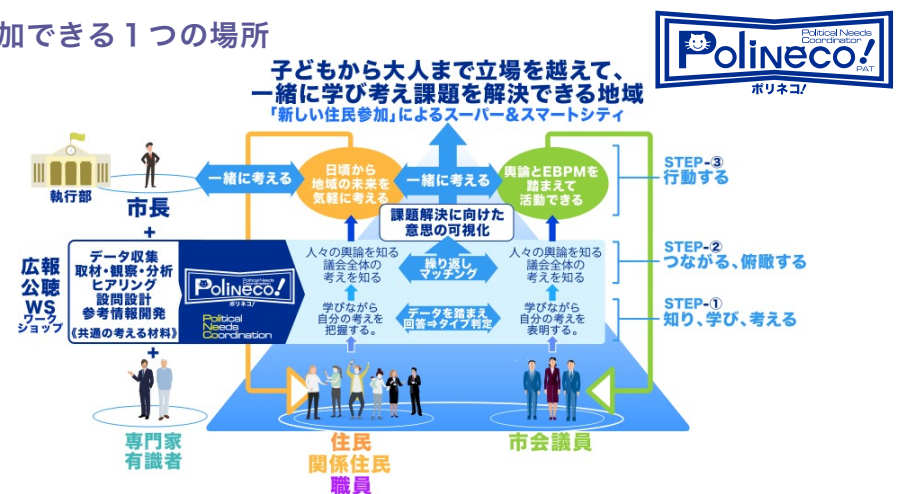
② 機能不全のメディア環境

テレビ、新聞の社会への影響度は低下しており、回答者が問われている事象の背景を知らなくても回答できる世論調査が民意となる等、社会課題をじっくり考える環境そのものがありません。



③ 誰もが参加できる1つの場所

そこで、『ポリネコ!』を提供します。現在の情報環境でバラバラである立場の異なる人々が、1つのコミュニケーションにメリットを得つつ参加できます。



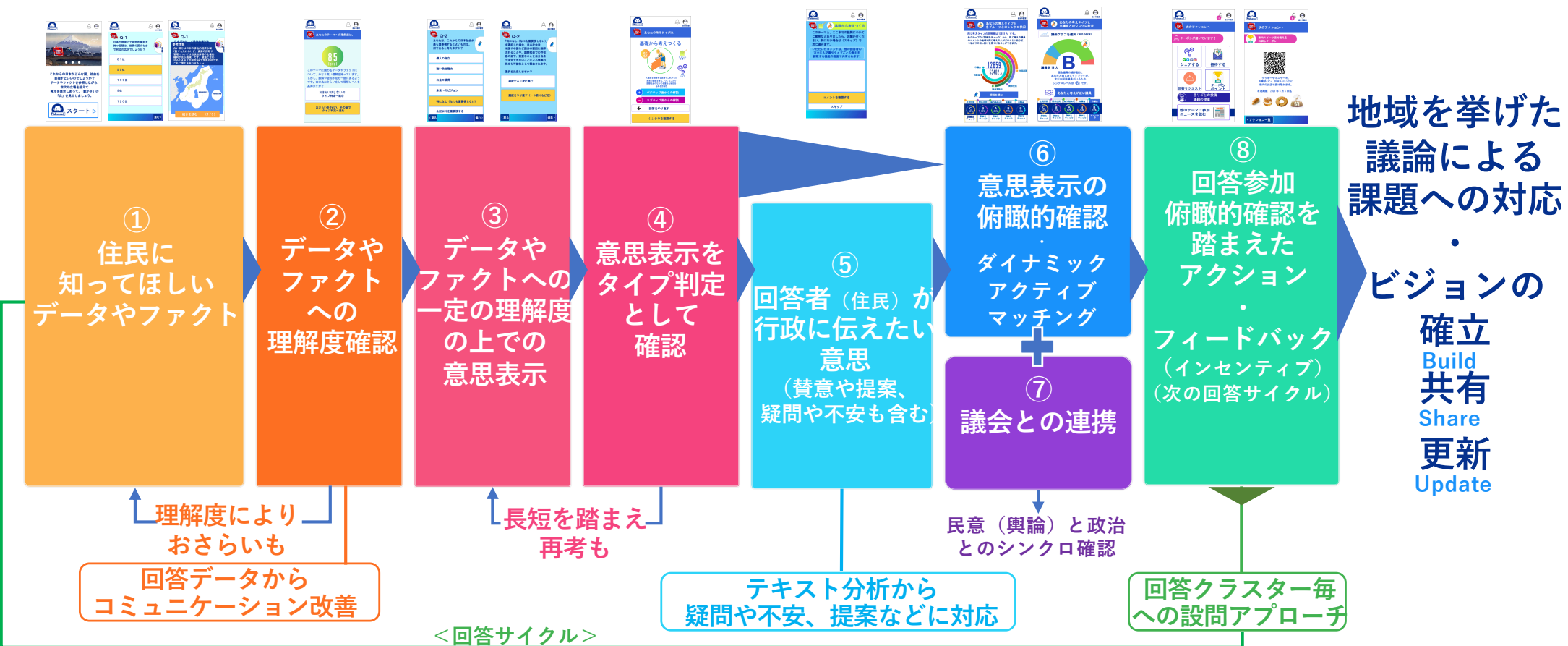
④ 相互理解が進む私達 (社会)

すると、データとファクトに基づくお互いの考え、意思を知ることができるようになります。この体験を重ねることで、地域課題の解決や共通目標=ビジョンの確立が、可能になります。



地域社会にビジョンが共有される  
 行政-住民間で『信頼』が育まれる

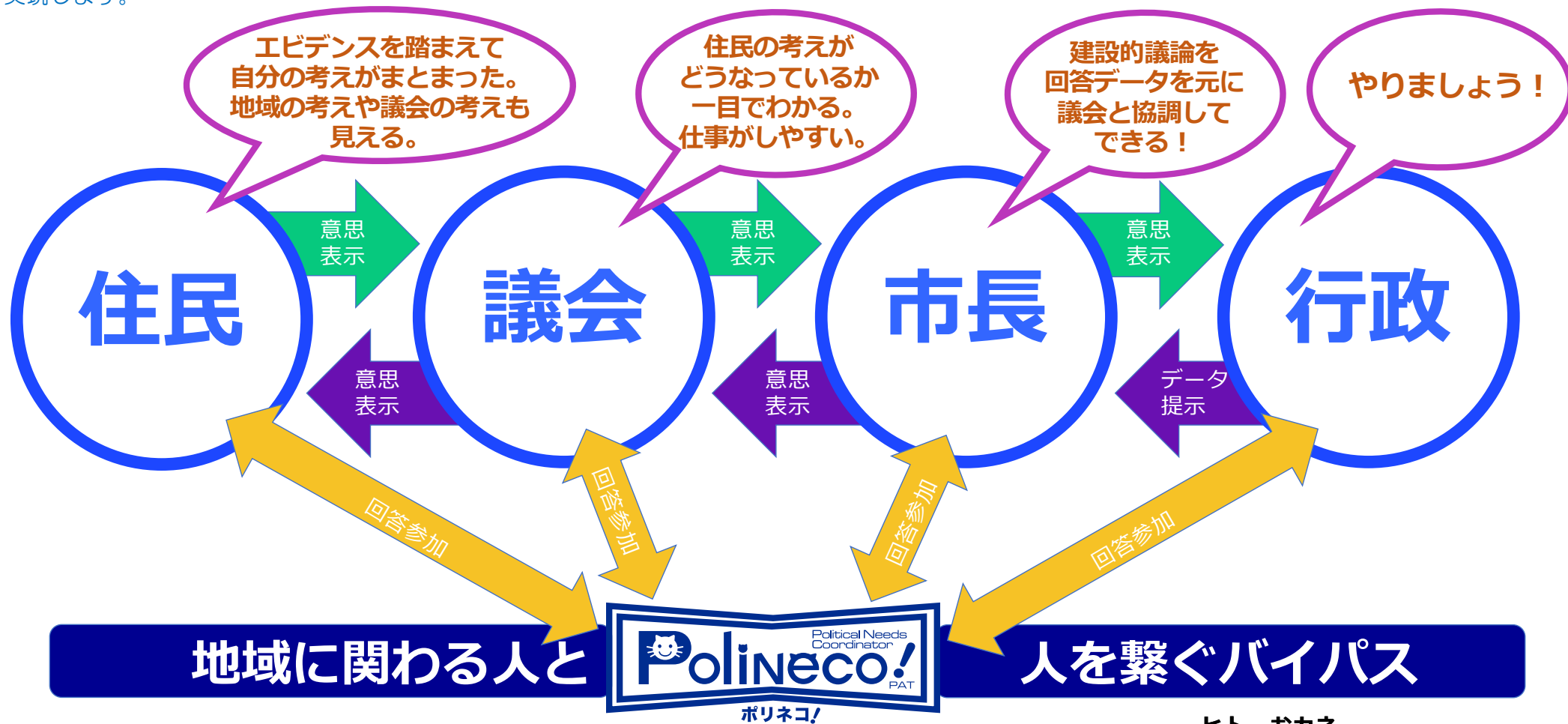
- 『ポリネコ!』では、記事や動画を読み、視聴しつつ (①)、回答プロセス (②-④) で認知ギャップを最小化した上で意思表示することができます。
- 他の回答者の回答も相互参照すること (⑥) ができ、国会や地方議会とのシンクロ率を確認すること (⑦) ができます。
- このプロセス (⑧) によって、データやファクトを踏まえた輿論による地域を挙げたコミュニケーションが実現できます。(特許取得済み)
- 従来のニュース、広報では、記事や番組を読んだり視聴することに留まります。情報の受け手(購読者、視聴者)が社会課題の解決に参画することができない技術的境界を『ポリネコ!』によって克服することができるようになります。
- 利用者は、政策や社会課題ごとに自分と同じ考えの政治家や回答参加者の状態を確認し、エビデンスを踏まえた上での建設的な議論、交流ができるようになります。



実在性が担保された匿名回答(性別、年代、居住エリア、回答履歴)



- 現在の地方自治のコミュニケーションの仕組みは昭和（戦後）に作られたものであり、それぞれの立場の人々が相互理解、共通目標を持つことが構造的に困難です。
- 『ポリネコ!』は、この困難さを解消するバイパスとして機能することで、これからの地域経営をDXやSDGs、田園都市構想などにも対応しながら実現します。



住民基点の地域経営 = ヒト・おカネ 資本の活用 地域の発展

## 自治体DX = 行政コミュニケーションの最適化

- 75年以上続いてきたこれまでの地方自治のコミュニケーションは一朝一夕には変わりません。5年以上継続することで、市役所と繋がる人を確実に増やし、下図のような持続可能性の確立に向けたコミュニケーションを実現します。

1



GIGAスクール構想  
「令和の日本型教育」に  
対応する地域の教育環境  
を実現できる

2



スーパーシティや  
スマートシティに  
不可欠な  
『新しい住民参加』を  
実現できる

3



関係住民や若年層、  
子育て世代など対象  
ごとの『声』を  
継続的に聞き  
分析できる

4



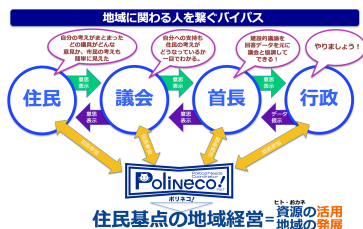
どこに人々の誤解や認知  
不足があるかを把握して  
改善につなげる  
『新しい広報・公聴』が  
できる

5



行政内部の情報&  
ビジョン共有  
による働き方改革を  
実現できる

6



住民（関係住民）-行政  
-議会がひとつの  
コミュニケーションで  
繋がり『納得解』が  
実現できる

7



双方向⇔かつEBPMの  
コミュニケーションに  
より『信頼』形成を  
実現できる

8



未来に向けた『投資』が  
できる地域の  
人々のネットワークを  
実現できる